

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
平成30年 6月29日	
愛知県知事 殿	名古屋市東区東桜1丁目1番10号 (アーバンネット名古屋ビル) 大同特殊鋼株式会社 代表取締役 社長執行役員 石黒 武 提出者 愛知県東海市元浜町39番地 住 所 大同特殊鋼株式使用者 知多工場 氏 名 執行役員知多工場長 鹿嶋 忠幸 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0562-33-3529
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
名 称	大同特殊鋼株式会社 知多工場
事業場の所在地	愛知県東海市元浜町39番地
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	22：鉄鋼業
②事業の規模	141,851百万円
③従業員数	2,378名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	電気炉 → 特管ばいじん 酸洗設備 → 特管廃酸 保管場 → PCB等 診療所 → 感染性廃棄物 製造設備 → 引火性廃油 委託処理 溶融施設 → 再生原料 中和処理 → 再生原料 → 管理型埋立 洗浄・分解 → 再生原料 溶融施設 → 再生原料 混合エマルジョン化 → 再生燃料

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社環境部 知多工場長（統括責任者） └─ 知多工場環境委員会 環境室長（管理責任者） └─ 産業廃棄物処理責任者 └─ 特別管理産業廃棄物処理責任者（感染性・感染性以外） └─ 産業廃棄物処理施設技術管理者（最終処分場）			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	排 出 量	17,967 t	4,107 t
	(これまでに実施した取組) ・ 酸回収装置の最大活用（腐食性廃酸）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	排 出 量	18,000 t	4,000 t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ t	２，１７０ t
	（これまでに実施した取組） ・排水pH粗調整処理（腐食性廃酸）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ t	２，０００ t
	（今後実施する予定の取組） ・新規社内利用の開発（腐食性廃酸）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ t	０ t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ t	０ t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	全処理委託量	17,967 t	1,937 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	1,108 t
	再生利用業者への処理委託量	17,967 t	829 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・関連グループ会社での全量処理（特定有害ばいじん）		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害ばいじん	腐食性廃酸
	全 処 理 委 託 量	18,000 t	2,000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	800 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	18,000 t	2,000 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 再生利用業者への委託推進 (腐食性廃酸)		
※事務処理欄			

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	排出量	0.43 t	16 t
	(これまでに実施した取組) ・ 滞留していた高濃度PCB機器の処分(廃PCB)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	排出量	0.2 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 高濃度PCB・安定器の全量処分(廃PCB)		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃PCB
	全処理委託量	0.43 t	16 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.43 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.43 t	16 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃P C B
	全 処 理 委 託 量	0 . 2 t	5 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 . 2 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 . 2 t	5 0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	0.012 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	0.02 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	0.012 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.012 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.012 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	0. 0 2 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0. 0 2 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0. 0 2 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

29年度の特別管理産業廃棄物発生量（実績）及び30年度の目標

（単位：t／年）

特別管理産業廃棄物の種類 (名称)		特定有害 ばいじん	腐食性 廃酸	引火性廃油	P C B 等	感染性廃棄物
項 目						
29年度の特別管理産業廃棄物発生量（実績）		17,967	4,107	0.43	16	0.012
30 年 度 の 目 標	①特別管理産業廃棄物発生量	18,000	4,000	0.2	50	0.02
	②自己直接再生利用量	0	2,000	0	0	0
	③自己直接埋立処分量	0	0	0	0	0
	④自己中間処理量	0	0	0	0	0
	⑤自己中間処理残さ量	0	0	0	0	0
	⑥自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	0
	⑦自己中間処理後自己埋立処分量	0	0	0	0	0
	⑧直接委託及び自己中間処理後委託処分量	18,000	2,000	0.2	50	0.02
	k 再生利用量	18,000	1,800	0.2	35	0.02
	l 中間処理による減量	0	200	0	15	0
	m 最終処分量	0	0	0	0	0

(注) 1 特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物は記入しないでください。

2 記入欄が不足する場合は、コピーしてお使いください。

3 単位を間違えないよう注意してください。